

令和元年度第6回 ほっとおおつち運営推進会議報告書

開催日時	令和2年3月18日（水） 14時00分～15時00分
開催場所	ほっと おおつち
出席者 合計 7名	民生委員児童委員会長1名、民生委員児童委員1名、地域代表1名 ボランティア団体1名、事務局4名
<p>1 あいさつ</p> <p>（運営推進委員会長）新型コロナウイルス感染症の影響もあり、マスク着用にての会議になります。不便だと思いますが、少しの間我慢してお願いします。今年度最後の会議になります。反省や来年度へ向けた意見等もあればよろしくをお願いします。</p> <p>2 協議</p> <p>(1) 利用状況について（別資料参照）</p> <p>利用者の状況は、3月も登録28名で経過している。男女別でみると、男8名、女20名となる。1名入院中の為、実利用は27名。この1名は入院中に区分変更を行い要介護5となり、4月から利用再開の予定。1年を振り返り、登録者が新規は11名、終了は9名だった。</p> <p>提供回数については順調に推移している。訪問内容は前回報告時と変わらない。活動内容に関しては天候や感染症予防の為、主に施設の中でのレクリエーションとなっている。</p> <p>◎ケース</p> <p>90代、災害公営住宅にて独居の女性。デイサービスの利用日に迎えに行ったが応答なし。普段はデイサービスを休む際、連絡をくれるが、その日は連絡がなかった。周辺を探すが見当たらず、包括支援センターへ相談。更に家族とも連絡がつかず、公営住宅管理センターから鍵を借り警察へ連絡し。警察が住宅の中へ入るが、室内にはおらず、昼頃になり別のイベントに参加していたとのことで帰宅する。</p> <p>このケースを受け、独居で身内が近くにいない方について、連絡手段や確認方法の統一した流れを作っていかなければならないと実感した。家族と相談し手段を考えたいが協力が得られず、なかなか進まない。近隣、遠方に関わらず、家族の協力が必要である。</p> <p>◎質問</p> <p>(地域代表) 他施設と比べて要介護5というのは多いのか。少ないのか。</p> <p>(事務局) 施設により形態が違うので、一概に多い少ないとは言えない。ほっと おおつちを利用している家族は、家庭でも介護できている人、介護したいという人が多数。その為、介護度は低いがゆくゆくは高くなり、家庭で介護ができなくなると施設入所となる場合もある。家庭と入所施設の間施設となっている。</p>	

(2) 「サービス評価」総括表のまとめについて（別紙参照）

前回、前年度の取り組みに対しての意見をいただき、今回、職員で話し合い、改善計画をたてたものを発表。

（意見）なかなか利用者（ほっと おおつち）のもとに顔を出すことが出来ない。住民がわざわざ施設を見に来るといってもないと思う。たまにボランティア等を取り入れて、イベントを開催してみてもどうか。

（応答）町内で活動している団体やボラセン等からも紹介してもらって取り組んでいきたい。

（意見）公民館の落成式があり、「ほっと おおつち」にも招待状がまわっていると思ったが、そうでないようだった。一緒に参加してもらえればよかった。

（応答）現在の感染症問題が落ち着いたら、見学に行きたいと思う。

3 その他

・社協各事業所では、新型コロナウイルス対策として、文書（別紙参照）を家族へ配布している。利用者へ利用前の検温を依頼し、職員も出勤前に検温し、37.5℃以上は利用や出勤を控える等の対策をしている。上記感染症にともない、地域包括支援センターも今回の会議参加を自粛している。早く収束してもらいたい。

・本会議の委員である利用者家族代表について。利用者の当施設の利用がなくなった為、家族代表も委員を退任する事になった。後任については調整中。

・寺野地区に3月開所予定の小規模多機能居宅介護施設「ハイス こづち」の申し込みは4月からになる予定。問い合わせはきている。来年度の運営推進会議で見学会を設けたいと思っている。